

港湾行政の現状について

港湾行政の現状について

- (1) 現行港湾整備 7 ヲ年計画の概要
- (2) 経済財政諮問会議等における公共事業等をめぐる見直しの動向

現行港湾整備 7 カ年計画の概要

第9次港湾整備五箇年計画の考え方について

平成7年8月8日

運輸省港湾局

今般、第9次港湾整備五箇年計画の基本的な考え方を示した「中期的な港湾整備のあり方」を作成した。

この「中期的な港湾整備のあり方」は、本年6月末21世紀初頭を目標に作成された新たな長期港湾政策「大交流時代を支える港湾 - 世界に開かれ、活力を支える港づくりビジョン-」の内容を踏まえつつ、当面、この5年程度の間、に緊急に解決すべき港湾整備の課題に対応するための具体的な施策とそれら施策の実行にあたっての基本姿勢をとりまとめたものである。

□これまでの検討経緯と今後の予定

平成7年

- 3月～7月 「中期的な港湾整備のあり方に関する懇談会」開催
- 8月3日 「中期的な港湾整備のあり方」を港湾審議会に報告
- 8月末 第9次港湾整備五箇年計画要求書を提出
- 12月 大蔵省内示(投資規模)

平成8年

- 3月 閣議了解(投資規模)
- 5～6月 港湾整備緊急措置法の改正
- 11月 閣議決定

口「中期的な港湾整備のあり方」の概要

1. 主要施策

(1) 国際競争力を有する物流ネットワークの形成

国際海運ネットワークにおける拠点形成

a. 国際コンテナ港湾の競争力の強化

- ・ハブポートとしての機能を強化するため、三大湾(東京湾、伊勢湾、大阪湾)及び北部九州の4地域の中核国際港湾における大水深(水深15m級)のコンテナターミナル群の形成

b. 地域の国際交流基盤の充実

- ・北米定期航路等の開設の可能性の高い北海道、日本海中部、東東北、北関東、駿河湾沿岸、中国、南九州、沖縄の8地域の中核国際港湾におけるコンテナターミナルの整備
- ・アジア域内の航路開設が見込まれる地域国際流通港湾の整備

複合一貫輸送等に対応した国内物流基盤の充実

a. TSLにも対応できる内貿ターミナルの配置

- ・内陸への輸送が円滑に行える、近代化された内貿ターミナルの全国配置(一県一港程度)とその整備の推進
- ・実用化の動向を踏まえたTSLのための施設整備

b. 幹線道路網と連携の取れた臨海部道路網の充実

(2) 信頼性の高い空間の創造

災害に強い港湾システムの構築

a. 臨海部における防災拠点の整備

- ・全国の主要港湾における耐震強化岸壁等の整備
- ・背後都市の人口集積状況等に対応した防災拠点の整備

b. 幹線輸送ネットワークの機能強化と多重性の確保

- ・中核国際港湾におけるコンテナターミナルの耐震強化
- ・中長距離フェリーターミナルの耐震強化

海上交通の安定性の向上

- ・ 交通の途絶による生活不安が生じやすい島しょ部を含めた海上輸送の安定性の向上のための防波堤等の整備

(3)活力とやさしさに満ちた地域づくりの推進

地域の活力を支える豊かな空間の創出

a. 臨海部空間の機能の充実

- ・ 老朽化した施設等の港湾再開発の推進
- ・ 安全で利用しやすい空間の形成のための公共アクセス等の整備

b. 潤いのある生活環境の創出

- ・ 親しみやすいウォーターフロントの創出等
- ・ 海洋性レクリエーションの進展に対応したマリーナ等の整備

自然と共生する環境の創造

a. 良好な沿岸域環境の保全・創造

- ・ 環境と共生する港湾(エコポート)の実現

b. 切迫する廃棄物問題への対応

- ・ 計画的な廃棄物海面処分場の確保等

2. 港湾整備にあたっての基本姿勢

投資の重点化

メガフロート等技術開発成果の積極的活用

高規格道路や空港等他事業との連携強化

整備方式の見直し等

港 湾 整 備 五 箇 年 計 画 に つ い て

〔平成 8 年 1 2 月 1 3 日〕
閣 議 決 定

港湾整備緊急措置法（昭和 3 6 年法律第 2 4 号）第 3 条第 1 項に規定する港湾整備五箇年計画を次のとおり定める。

1．港湾整備事業の実施の目標

経済のボーダーレス化の進展や円高等の影響により我が国物流の高コスト構造が一層顕著となる中で、我が国の港湾はアジア諸国との激しい競争にさらされている。また、阪神・淡路大震災により露呈した災害に対する脆弱性への対応、深刻化する廃棄物問題や地球温暖化問題への取り組み等、国民が安全で安心して暮らせる環境づくりが急務となっている。

こうした喫緊の課題に対応するため、交通、生活、産業等の諸活動を支え、島国日本の礎となる港湾の適切な整備が国民経済の健全な発展と国民生活の向上にとって必要不可欠である。よって、「国際競争力を有する物流ネットワークの形成」、「信頼性の高い空間の創造」、「活力に満ちた地域づくりの推進」を図るため、港湾及び周辺における環境の保全に十分配慮するとともに、技術開発成果等を積極的に活用しつつ、港湾整備事業を緊急かつ計画的に実施することとする。

このため、平成 8 年度以降の五箇年間に、災害関連事業、地方公共団体の行う単独事業及び港湾機能施設整備事業等を含めて総額 7 兆 4 , 9 0 0 億円（調整費 1 兆 1 , 0 0 0 億円を含む。）を港湾の整備に投資するものとする。このうち、港湾整備五箇年計画として国、港湾管理者等が施行し、かつ、これに要する費用の全部又は一部を国が負担し、補助し、又は無利子で貸し付ける港湾整備事業（調整費で充当するものを除く。）に総額 4 兆 3 , 1 0 0 億円を投資するものとする。

なお、本計画の実施に当たっては、財政の健全性の確保に留意しつつ、その促進に努めることとし、各種事業の整合性の確保を図り、建設コストの低減等により効果的・効率的な整備に努める。また、今後の社会・経済の動向、財政事情等を勘案しつつ、弾力的にその実施を図るとともに、必要に応じ、その見直しにつき検討するものとする。

この計画における港湾整備事業の実施の目標は次のとおりである。

(1) 国際競争力を有する物流ネットワークの形成

国際海運ネットワークにおける拠点形成

世界に巡らされた航路網と高頻度の寄港サービスを提供するため、東京湾、伊勢湾、大阪湾及び北部九州の4地域の中核国際港湾において、国内各地と世界とを結ぶハブとしての機能を強化する国際海上コンテナターミナル群の整備を推進するとともに、北海道、日本海中部、東東北、北関東、駿河湾沿岸、中国、南九州及び沖縄の各地域の中核国際港湾において、地域のコンテナ輸送に対応するため、国際海上コンテナターミナルの整備を推進する。

また、近隣諸国と連携した地域の消費や生産活動を支える役割を有する地域国際流通港湾等において、地域の需要に応じた多目的国際ターミナル等の効率的な整備を推進する。

これにあわせ、幹線道路網等と連携のとれた臨港道路や総合輸入ターミナルの整備を推進するほか、港湾における情報化を推進するなど港湾の効率的な利用を促進する。

複合一貫輸送等に対応した国内物流基盤の充実

長距離・大量輸送に優れ、環境への負荷の少ない海運の利用を促進し、物流の実態に応じた効率的な国内海上輸送網を構築するため、テクノスーパライナーの実用化の動向も踏まえつつ、複合一貫輸送に対応した内貿ターミナル等の整備を推進する。

(2) 信頼性の高い空間の創造

災害に強い港湾システムの構築

災害発生時において、避難者や緊急物資等の輸送を確保するため、背後の防災ネットワークと連携をとりつつ、耐震強化岸壁、臨海部における防災拠点等の整備を推進する。

また、内外の基幹航路の運航を確保し、被災地内外の経済社会活動への影響を最小限に抑えるため、被災地外の港湾の代替・補完機能を考慮しつつ、国際海上コンテナターミナル等について、耐震強化岸壁の整備を推進する。

海上交通の安定性の向上

海上交通の安定性の向上を図るため、所要の防波堤、航路、泊地等の整備を推進する。

(3) 活力に満ちた地域づくりの推進

地域の活力を支える豊かな港湾空間の創造

多様な産業にとり立地環境の優れた産業空間や、快適で利用しやすい交流空間の形成を図るため、臨海部の特性を活かした緑地、海浜などの整備やプレジャーボート等の小型船の収容施設の整備並びにこれらの整備と連携を図りつつ、民間活力を活用したウォーターフロントの形成などを推進する。

また、老朽化・陳腐化した施設の更新、改良や他用途への利用転換等の港湾再開発、新たな空間の創出を推進する。

離島や地方においては、生活物資の安定供給や日常生活の足の確保を図るとともに、地場産業の振興を促進するため、地域の生活を支える基盤となる港湾の整備を推進する。

良好な港湾環境の形成

切迫する廃棄物問題へ対応し、生活環境の保全に寄与するため、廃棄物海面処分場を計画的に確保する。特に、背後に大都市圏を抱える港湾においては、効率的な廃棄物処分を行うため、広域的な観点からの処分場の整備等を推進する。

また、環境と共生する港湾（エコポート）の実現を図るため、生態系との共生に配慮しつつ良好な自然環境を保全するとともに、汚でいしゅんせつ等による水質・底質の改善、海浜の造成、緑の創出等の施策を推進する。

2 . 港湾整備事業の量

(1) 国際海運ネットワークにおける拠点形成	1 兆 5 , 7 0 0 億円
(2) 複合一貫輸送等に対応した国内物流基盤の充実	4 , 5 0 0 億円
(3) 災害に強い港湾システムの構築	2 , 0 0 0 億円
(4) 海上交通の安定性の向上	5 , 9 0 0 億円
(5) 地域の活力を支える豊かな港湾空間の創造	1 兆 2 0 0 億円
(6) 良好な港湾環境の形成	4 , 8 0 0 億円
合 計	4 兆 3 , 1 0 0 億円